

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	エフビー介護サービス株式会社	代表者	柳澤 美穂	法人・事業所の特徴	今できていることを奪わない、ということに常に意識した支援を行っている。集団で何かを行う場面は少なく、利用者様がしたいことをしたいように過ごせるよう見守っており、それぞれがそれぞれの時間の流れの中で過ごされている。訪問時も家事等代行するのではなく、自分でできるための支援にこだわってサービス内容を検討している。その人のその時の状況に合わせて、送迎時間や訪問時間を調整し対応している。独居の方の栄養状態改善のため、利用登録者に限り配食のサービスも提供しており、自宅での生活を総合的に支えられるよう努めている。独居の方では、体調不良の時に限り宿泊を利用し、不安なく療養できるようにしている方もある。
事業所名	あつたかほ一む稲葉	管理者	小柳 友輔		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	2人	人	人	1人	人	1人	人	5人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 利用者様、ご家族様との話した内容を簡易的に職員に伝えるのではなく、話した内容のまま共有することで、いろいろな観点から利用者様の必要とするケアを検討していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者様一人ひとりの状況をタブレットを通し、職員全体に共有することができたが、ケアの内容に繋げるミーティング時間があまり足りていなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 話した内容とともに、利用者様、ご家族様の様子も共有することで、心の中の言葉も職員間で共有できていると思います。 事業所自己評価において、各テーマでできていない点を具体的に挙げることで、改善計画が具体的かつ達成可能な計画となっていた。 タブレットの活用により職員全体が気づき対応されている事に高く評価します。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続きタブレットの情報共有に努めていく。また、会議やミーティングの機会を増やしていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 物を増やすだけでなく、定期的に整理をし、利用者様が動きやすく過ごしやすい空間作りをしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 物を増やすことなく、ホームにある物を使用し、整理整頓することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 感染症の関係もあり、家族や地域の方が事業所に入りやすい工夫については確認することができなかった。 事業所内、外ともにきれいに整理整頓されていた。 ご利用者様への配慮、目配り、気配りがあり素晴らしいです。 	<ul style="list-style-type: none"> 心地よい空間とする為、引き続き物を増やさず、ある物で工夫し使用することで圧のない空間作りをしていく。

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対策をした上で、回覧板等で周知した地域行事に参加していく。夏祭りの再開を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナが5類となり地区の行事には、把握できている範囲で参加することができた。夏祭りに関しては、社内の感染対策もあり開催には至らなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日話公民館の太鼓の演奏会を聴きに行くなど、地域行事に参加していた。 ・感染症の関係で、以前より地域住民との交流を図るのは難しいと思うが、事業所ないでの活動のみにならないようお願いしたい。また、事業所側からも積極的にサービス内容を地域住民に発信できるように引き続きお願いしたい。 ・地域活動として公民館等でのイベントの参加、コロナ禍でも工夫されていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員の方や回覧板などを通じ、積極的に地区の行事に参加していく。夏祭りに関しては、会社内での感染症対策の状況を見ながら検討していく。
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の住まれている地区の民生委員の方を把握し、随時情報共有をする。生活保護の方であれば生活支援課の方との情報共有にも努めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活保護の方を担当されている生活支援課の方とは、連絡を取り合うことができたが、他利用者様の民生委員の方の把握が数名しかできなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所自己評価でも民生委員と積極的な関りがないとの事なので、引き続き民生委員の把握に努めてもらいたい。 ・地域との関り方は難しいと思いますが、周知啓発してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームのある地区だけではなく、他利用者様が住まれている地区の民生委員の方をご家族様や地域包括を通し、把握に努めていく。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染予防をした上で、ホームでの会議開催をしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナも緩和になり運営推進会議を対面で開催はできているが、ホームの報告が主となってしまい、地域の課題にあまりふれられていなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウィルス感染症が落ち着いた際には対面で開催ができた。 ・運営推進会議では地域の方も参加される為、事業所側からの報告だけではなく、地域の方々との意見交流の場としてもらいたい。 ・毎回の会議の報告ありがとうございます。あつたかほ一むさんの取り組み内容がわかりやすく良かったです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームの運営報告は簡潔に報告をし、地域の課題や意見などを言える時間を増やしていく。
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナも緩和してきている為、運営推進会議や回覧板を通し、参加していくようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区とホームで訓練を行っている事は情報共有できたが、合同で行うことはできなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区では春と秋に防災訓練をしています。春は勉強会でシミュレーションを行い、秋は実際に避難訓練をしています。来年度から開催する際は連絡しますので参加していただければと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・春と秋に開催している地区の防災訓練に参加し、防災に関しての情報共有をしていく。